

令和3年5月（第2回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和3年5月19日（水）13:30～14:30

場 所 （ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を利用）

出席者 37 / 37

欠席者 なし

○ 前回議事要旨の確認

令和3年4月開催（第1回）の議事要旨について、原案のとおり確認された。

○ 議事

1 審議事項

(1) 岡山大学名誉教授称号授与について

学長から、資料1に基づき、「(「名誉教授選考調書」は会議終了後回収)に基づき、名誉教授の称号授与について審議願いたい旨提案があり、審議の結果、関係部局長から推薦のあった1名の方に対し、令和3年4月1日付けに遡り岡山大学名誉教授の称号を授与することが承認された。

(2) 第4期中期目標・中期計画の策定に向けて

高橋理事から、資料2に基づき、「岡山大学ビジョン」、「岡山大学ビジョン2.0」及び「岡山大学長期ビジョン」の趣旨等を踏まえ、その間を繋ぐ「岡山大学ビジョン3.0～ありたい未来を共に育み共に創る共育共創の研究大学～」(仮称)を策定したこと、その主な趣旨として、第3期中期目標・中期計画期間で取り組んできたSDGs 大学経営とグローバル・エンゲージメント戦略をより発展させ、共育共創の志を共有するエンゲージメントを進めることで、地球規模の課題と本学の地域の教育研究資源をマッチングさせて教育研究力の強化を図り、本学と地域の「特色と強み」を国際的に価値あるものとする事、また、第4期中期目標・中期計画案¹の作成に向けた今後のスケジュールの概略説明があり、来月の本評議会最終原案を示すこととなる旨説明があった。続いて、横井上席副学長から、ここ最近、「プラネット」という言葉が世界会議で使用されるようになり、「サステナブルフューチャー」、「サステナブルワールド」という言葉を超えた「プラネット」というキーワードで教育、研究を考えるようになってきていることから、本学がそれに向かって戦略として方向性を見出し、具体的にどここの強みを押していくか、どういった人材育成を考えていくか、本学なりの落としどころが重要と考えている旨補足意見があった。

続いて、各理事から、各担当において、第4期中期目標選択項目、中期計画(案)及び評価指標・キーワード等の概要について説明があり、学長から、意見がある場合は、高橋理事又は担当課まで提出いただきたい旨依頼があった。

¹ 資料2の「第4期中期目標・中期計画案」で、「第4期中期目標選択項目」の欄の朱書き箇所は、「第4期中期目標期間における国立大学法人の中期目標・中期計画の策定に向けて(令和3年4月28日付け文部科学省国立大学法人支援課事務連絡)」により訂正となった箇所。

(3) 外国人留学生に対する授業料等の不徴収について

鈴木副学長から、資料3に基づき、大学院社会文化科学研究科（博士前期課程）と台湾国立嘉義大学との間でダブルディグリー制度を導入するため締結予定としている部局間交流協定において、当該外国人留学生に対する授業料等を不徴収とすることとしたい旨当該研究科長から申請があったため、「岡山大学における外国人留学生に対する授業料等の不徴収取扱要項（平成29年学長裁定）」の関係規定及び「岡山大学における外国人留学生に対する授業料等の不徴収プログラム申請のためのガイドライン（平成29年役員政策会議承認）」に基づき、グローバル人材育成院運営委員会で検討の結果、申請のとおり承認されたこと、また、併せて、これに伴い前述の要項の別表を更新することとしたい旨説明及び提案があり、審議の結果、承認された。

2 報告事項

- (1) 大学機関別認証評価：大学改革支援・学位授与機構との2回目の事前相談について
高橋理事から、資料4に基づき、4月27日（火）に今年度受審予定の標記認証評価に伴う2回目の事前相談で前回指摘された「内部質保証」体制及びプロセスに係る大枠について本学の状況は先方に理解いただいたところであるが、特に、「全学」「部局」「個人」の各階層において自己点検・評価を実施しているものの、それぞれの実施で完結してしまっているように見えるため、各階層のPDCAサイクルを有機的に結び付けて実施するよう意識的な対応をお願いしたいこと、各教員が有する業績等を公表するため「研究者総覧」に入力をお願いしており、情報データベースシステムも更新されているので、研究者総覧の入力状況に漏れがないようお願いしたい旨の依頼があった。

3 その他

- (1) 次回開催日について

今回は、6月16日（水）13時30分から開催することとなった。

以上